

店

平成 14 年 3 月 1 日

各 位

会 社 名 ヤ フ ー 株 式 会 社  
代表者の役職名 代表取締役社長 井上 雅博  
(店頭上場銘柄 コード番号 4 6 8 9 )  
問い合わせ先 I R ・ 株 式 部 長 角 田 栄 一  
電 話 0 3 - 5 4 6 9 - 6 9 6 5

### 「Yahoo!オークション」の出品・落札時等におけるシステム利用料導入のお知らせ

平成 14 年 2 月 28 日、当社は、「Yahoo!オークション」において、出品・落札時等においてシステム利用料を導入することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

「Yahoo!オークション」では現在、月額 280 円（税別）の参加費（本人確認費用）をユーザーにご負担いただいておりますが、今後、出品者を対象に平成 14 年 4 月 15 日から 1 商品につき 10 円を課金する「出品システム利用料」と、入札されたオークションを出品者が取消した場合に、一律 500 円を課金する「出品取消システム利用料」、更に平成 14 年 5 月 15 日より落札金額の 3% を従量課金する「落札システム利用料」を導入いたします。なお、入札がない場合の出品の取消しや自動再出品には料金はかかりません。自動車車体・オートバイ車体・不動産などの特定カテゴリについては、「出品システム利用料」として 1 商品につき一律 500 円、「落札システム利用料」として落札金額にかかわらず一律 3,000 円を課金いたします。

また、出品時に選べる便利な新機能として、「注目のオークション」や「ギフト」、「即買」のアイコンをオークションリストの一覧に追加できる「出品オプション」も有料でご利用いただくことができます。これらのシステム利用料にはすべて消費税がかかります。システム利用料の支払手続きに関しては、別途登録が必要となりますが、その具体的な方法やガイドラインおよび利用規約などの詳細については、後日追って発表する予定です。

「Yahoo!オークション」では、昨年 5 月に本人確認制度を導入した結果、違法出品やいたずら入札、落札後にユーザー間で連絡が取れないなどのトラブルが減少し、初心者でも簡単に参加できるオンライン・オークションサービスとしてユーザー数、出品数ともに大幅に増加いたしました。今年 2 月末現在、登録ユーザー数は、本人確認制度開始時の約 2.5 倍の 158 万 ID、常時出品数は約 1.6 倍の 404 万点に増えています。しかしその一方で、大量のオークションを安定的に維持するために、数百台のサーバー増設や通信回線、ネットワーク機器の増強、スタッフの増員に莫大なコストを投じてきました。また、同じ商品を複数回出品するなどして検索を阻害したり、オークション形式をとらない広告まがいの出品も多く、ユーザー間でも出品者と入札、落札のみの参加者の間で不公平感が生じています。これらの問題を解消するために受益者負担の観点から検討し、出品されるユーザーに対し、出品・落札時等のシステム利用料をご負担いただくことにいたしました。

「Yahoo!オークション」では、今後も、より強固なシステム構築とバックボーンの増強、出品オプションの追加、エスクローや「Yahoo!ゆうパック」などの便利なサービスの提供、カスタマーサポートの充実を進め、更に便利で使いやすいサービスの運営と健全なオークションの活性化に努めていく所存です。

(ご参考)

「Yahoo!オークション」システム利用料(消費税別)

	出品者	落札者	開始時期
参加費	月額 280 円		平成 13 年 5 月 28 日
出品	<b>出品システム利用料</b> ・ 出品時に 1 出品(1 商品)につき 10 円 ・ 特定カテゴリ(自動車車体、オートバイ車体、不動産)は 1 商品につき一律 500 円  <b>出品オプションシステム利用料</b> ・ 注目、ギフト、即買などのアイコンを追加した場合は 10 円から		平成 14 年 4 月 15 日 0 時 ~
入札		無料	
出品取消	<b>出品取消システム利用料</b> ・ 入札がある場合は一律 500 円 ・ 入札がない場合は無料		平成 14 年 4 月 15 日 0 時 ~
落札	<b>落札システム利用料</b> ・ 落札金額の 3% ・ 特定カテゴリ(自動車車体、オートバイ車体、不動産)は 1 商品につき一律 3,000 円	無料	平成 14 年 5 月 15 日 0 時 ~

以 上